

全国

ぜんこく  
しぎかいじゅんぽう

平成24年 10月25日  
(2012年)

第1847・48号

毎月3回5の日に発行  
(購読料は会費に含む)

定価 1部20円

発行 全国市議会議長会

〒102-0093  
東京都千代田区平河町2-4-2  
代表 TEL 03(3262)5234  
旬報 TEL 03(3262)2309  
発行人 原田 正司

http://www.si-gichokai.jp

# 市議会議報



②

①会場となったひめぎんホールは2700人も参加者で満席となった②開会式であいさつする関谷博・本会会長③開会式であいさつする寺井克之・松山市議会議長④開催旗が寺井議長から次期開催地となる旭川市の三井幸雄・議長へと引渡された



①



③

第7回全国市議会議長会研究フォーラムが10月10・11日の2日間にわたり、愛媛県松山市の「ひめぎんホール」で開催された。

10/10~11

## 本会が研究フォーラム

松山市で



④

1日目の開会式では、関谷博・本会会長（下関市議会議長）のあいさつに続き、寺井克之・松山市議会議長、野志克仁・松山市長があいさつ。開会式後、片山善博・元総務大臣が登壇し「地方自治の課題と議会のミッション」と題する基調講演を行った。

## 総務大臣表彰式が挙



【写真上】左から2人目が本会の関谷博・会長【写真右】式辞を述べる樽床伸二・総務相



そのうち、パネルディスカッションを実施した。コーディネーターとして佐々木信夫・中央大学経済学部教授を迎え、パネリスト4人とともに「地方議会における政策形成の在り方」について議論した。

2日目は、「大震災における議会の役割」と題する課題討議を実施。牛山久仁彦・明治大学政治経済学部教授をコーディネーターとして迎え、東日本大震災における事例報告者3人とコメントーター1人の4人とともに、課題討議を実施した。

閉会式では、渡辺光雄・本会副会長（藤沢市議会議長）があいさつ。研究フォーラムは盛会裡に閉会した。

総務大臣表彰式が10月5日、全国町村会館で挙行され、本会の関谷博・会長（下関市議会議長）が来賓として出席した。表彰式では、樽床伸二・総務相の式辞、草川昭三・参議院総務委員長ら来賓の祝辞が披露された。今回の表彰対象者は11人。本会からの対象者はいなかった。表彰の対象は在職歴が通算で市区町村長20年以上、都道府県と市区町村議会議長12年以上で地方自治の発展に功労した者。

【次号に第7回研究フォーラムの特集を掲載予定】

公立病院改革プランの実施状況等

【調査対象：平成24年3月末現在627団体[886病院](地方独立行政法人を含む)】
※プラン策定病院のうち、平成24年3月末までに診療所化や民間譲渡等した病院は除いている

1. 経営の効率化に係る計画

表①<経常収支の状況>

Table with 3 columns: 区分, 平成23年度, 平成22年度. Rows include 経常収支が黒字の病院, 経常収支が赤字の病院, 合計.

※平成23年度における当該病院の経常収支比率の目標値に対する達成状況

表②

Table with 4 columns: 区分, 病院数, プランの目標値を達成した病院, プランの目標値を未達成の病院(目標なしを含む).

改革プランのうち「経営の効率化に係る計画」は、大半の病院にとって23年度が実質的な最終年度。今回の調査結果によれば、470病院が経常収支の黒字化を達成したものの...

23年度に黒字の470病院のうち、自らが設定した「経常収支比率」の目標値を達成した病院は76.0%の357病院。目標なしを含む未達成の病院は113病院となつた。一方、赤字の416病院のうち、自らが設定した目標値を達成した病院は30.5%の127病院。未達成の病院は289病院となつた。

経営3指標全て達成は8・8%

表③

Table with 6 columns: 経営3指標の目標値に対するプランの達成状況, 病院数, 割合, 左記のうち平成23年度における経常収支の状況 (黒字の病院, 赤字の病院).

※平成23年度における当該病院の経営3指標(経常収支比率、職員給与費比率(対医業収益)、病床利用率)の目標値に対するプランの達成状況

公立病院改革プラン実施状況等の調査結果—総務省

470病院が経常収支黒字化

本紙で動向を注視してきた「公立病院改革プラン実施状況等の調査結果」がまとまったため、今号に概略を掲載する。この調査結果は、総務省が9月28日に公表したもので、調査日を本年3月31日とし、病院の「経営の効率化に係る計画」の実施状況などを軸にまとめた調査の経緯は下掲の「解説」を参照。調査によれば、調査対象となった886病院のうち53.0%を占める470病院が、平成23年度時点で経常収支の黒字化を達成。本紙が第1814号に掲載した速報の時点では、黒字化を見込む病院が60.7%となつていた。今回の調査ではプラン策定病院のうち、24年3月末までに診療所化や民間譲渡した病院を除いている。

公立病院改革プラン
総務省が「公立病院改革ガイドライン(19年12月策定)」に基づき自治体へ策定を要請した。ガイドラインは...

細にみていくと、23年度に経常収支が黒字の病院は53.0%の470病院だが、22年度は53.9%の494病院。22年度から24病院、0.9%の減となった。一方、23年度に経常収支が赤字の病院は47.0%の416病院。22年度から0.9%の増だが、7病院の減となった。

「経営の効率化」については23年度が実質的な最終年度に該当したが、今回の調査で91.2%の病院が経営3指標のいずれかまたは全てを達成していないことが分かった。

目標全てを達成した病院は、886病院のうち78病院。全体の8.8%を占める。ここで指す目標とは当該病院の経営3指標で▽経常収支比率▽職員給与費比率(対医業収益)▽病床利用率。いずれもまたは全ての目標を達成できなかった91.2%の病院を内訳で見ると、全て未達成が29.9%、病床利用率のみ未達成が22.3%の順に続いている。

【参考資料1抜粋】

○平成23年度における経常収支の状況

■23年度に経常収支が黒字の病院(470病院の内、都道府県立病院、地方独立行政法人を除く)

※「※」を付している病院は、特定被災地方公共団体が経営している病院

Table with 5 columns: 区分, 団体名, 病院名, 備考. Lists hospitals across various prefectures like Hokkaido, Tohoku, Kanto, etc.

Table with 5 columns: 区分, 団体名, 病院名, 備考. Lists hospitals across various prefectures like Chubu, Kansai, Kyushu, etc.

Table with 5 columns: 区分, 団体名, 病院名, 備考. Lists hospitals across various prefectures like Chugoku, Shikoku, etc.

【参考資料2抜粋】

○平成23年度に改革プランを策定していない病院の経常収支の状況

● 従前は改革プランを策定していたが、平成23年度以降のプランを策定していない病院

■ 23年度に経常収支が黒字の病院(4病院)

Table with 5 columns: 区分, 団体名, 病院名, 備考. Lists specific hospitals that are exceptions to the reform plan.

※「※」を付している病院は、平成22・23年度に新設の病院

### 健やかな生活は市民の願い

赤ちゃんからお年寄りまで、明るく元気に過ごせるまち―住民と身近に接する市議会議員にとって、住民の健康を守る施策の探求は、最大関心事の1つとなっているのではないのでしょうか。今回、施策の概略を紹介する松本市が

## 市政ニュース

### 計画策定の背景

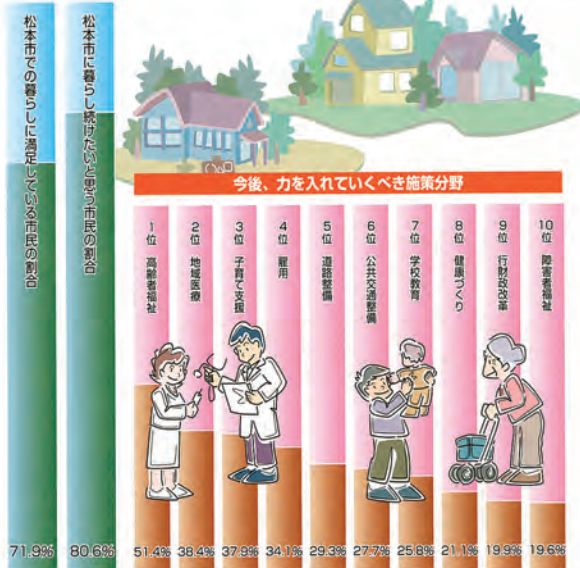
#### 社会情勢の急激な変化

私たちを取り巻く社会情勢の変化は、前回計画策定時の予想を上回るものとなっています。

- ・超少子高齢化人口減少社会の到来
- ・地球環境問題の深刻化
- ・長引く経済の低迷
- ・地域主権と新たな地域づくり

#### 市民の意識(住民アンケートの結果)

第9次基本計画の策定に当たり、市内に在住している20歳以上2700名を対象にアンケートを実施し、1439名から回答をいただきました。



【資料提供＝松本市】

# 健康寿命延伸都市の創造をめざして

長野県松本市

市民へ調査した結果、我がまちで健やかな生活を送ってほしいと願う市民の意識が明確となっています。左掲。

今後、行政が力を入れていくべき分野を松本市が住民へ尋ねたところ、「1位」高齢者福祉、「2位」地域医療、「3位」子育て支援、「8位」健康づくりが上位10施策

に挙げられました。赤ちゃんからお年寄りまで、明るく元気に過ごせるまちを市民は望んでいるのです。

市民から寄せられた意見を反映させ、松本市では平成23年度を初年度とする総合計画(基本構想2020・第9次基本計画)で「健康寿命延伸都市・松本」を掲げました。

### 健康寿命を伸ばすために

- 松本市では、「基本構想2020」で定める将来の都市像とまちづくりの基本目標、また、「第9次基本計画」で定めるまちづくりの基本施策の実現に向け、次の主な取組みを進めていきます。
- ①人の健康
    - 生活習慣病予防対策の推進、市民歩こう運動の推進、自殺予防専用相談「いのちのきずな松本」の充実など
  - ②生活の健康
    - 平和教育の充実、人権学習の推進、介護支援事業の推進、あるがキッズ支援事業 など
  - ③地域の健康
    - 各種講座等の開催による市民活動の支援・促進、ふれあい健康教室の推進 など
  - ④環境の健康
    - 家庭エコクラブ事業への支援、環境教育の推進・支援 など
  - ⑤経済の健康
    - 家族団らん手づくり料理を楽しむ日事業、食育・地産地消推進事業 など
  - ⑥教育・文化の健康
    - 各種健康スポーツ教室・大会の開催、文化芸術活動の推進 など
- 暮らしの環境づくり
- ①人の健康
    - プラチナ世代の相談窓口「とまり木」の機能の強化、市民農園事業 など
  - ②生活の健康
    - ひとり暮らし高齢者対策の検討、保育園施設整備事業 など
  - ③地域の健康
    - 地域コミュニティづくりの推進、多世代同居促進政策の検討 など
  - ④環境の健康
    - 再生可能なエネルギー活用推進、次世代交通政策の推進、ごみ減量対策事業の推進 など
  - ⑤経済の健康
    - まちなか居住の推進、地場産業振興事業、健康寿命延伸新需要創造事業 など
  - ⑥教育・文化の健康
    - 学校サポート(学校応援団)事業、公民館大規模改修、基幹博物館整備事業 など

### 「健康寿命」の基準を定義

「健康寿命」について松本市は「一生涯のうち健康で自立して暮らすことができる期間」と説明しています。「健康寿命」は、「平均寿命」から「要介護等の期間」を除いた期間として算出すると定義しています。

「健康寿命」の算出方法は定式化されていないため、要介護等の期間にも明確な基準がありません。そこで松本市では、公衆衛生学会員である切明義孝氏による「介護保

### 健康は1日にして成らず

健康は、様々な要素が絡み合い維持・増進されるため、健康寿命の延伸には日々の健康的な生活習慣の継続が不可欠です。しかも、無理なく取り組めなければ習慣となり得ません。「どのようにして進

### 健康は1日にして成らず

めていくか?」この問いに市民へ用意した松本市の答えは「まずは歩くことから始めよう」でした。特別な器具を必要とすることなく、これなら無理なく始められます。健康づくりの一環として住民に歩いてもらうため松本市では、ウォーキングマップを作成しました。このマップは地区ごとに数本のコースを用意し、距離や所要時間も選べるようになっていくほか、各地区の見どころも満載な優れものとなっています。

地道に健康寿命の延伸へ取り組む松本市では、目的実現への手綱を緩めません。11月12日には市内で「第2回世界健康首都会議」松本市HP参照を誰でも参加できる場として開催し、参加者と研鑽を積む予定としています。